



職員人事交流

とやま呉西圏域6市では、お互いに職員を派遣する人事交流を行っています。
人事交流中の職員の近況をご紹介します。

令和6年度 高岡市⇄小矢部市 砺波市⇄南砺市 射水市⇄氷見市

派遣先の担当業務と職場の雰囲気



【高岡市 ⇒ 小矢部市（商工立地振興課）】 職種：事務職

- ・創業支援、融資関連の助成制度や労務対策に関する業務を担当。呉西圏域連携事業に参画し、ビジネス交流会や企業説明会の事務を行う。
- ・職員同士の会話が多く和やかな雰囲気、些細なことでも相談しやすい職場。

【氷見市 ⇒ 射水市（観光まちづくり課）】 職種：事務職

- ・移住フェアへの参加やセミナーの開催、移住者に係る補助金の交付など、主に移住・定住に関する業務を担当。
- ・会話が多く明るく活気に満ちている職場で、職員同士が協力しあう体制ができており、働きやすい環境である。



【射水市 ⇒ 氷見市（商工観光課）】 職種：事務職

- ・呉西圏域の自治体や他県との広域観光連携を担当。首都圏での観光プロモーション活動、地元観光事業の氷見三味事業やひみぶりフェアにおける観光と食文化のPRを行う。
- ・若手職員が多く、気軽に情報交換ができる環境である。分からないことは周りの職員が教えてくれ、大きな労力が必要な場合は、課員が協力して準備するなどといった風土がある職場。

【南砺市 ⇒ 砺波市（商工観光課）】 職種：事務職

- ・各種協議会の出向宣伝などの広域観光事業、観光イベントや観光列車「べるもんた」などの観光事業、北陸「ステーションキャパ」関連事業などの観光PRや観光業務に関する連絡調整を担当。
- ・課内会議を通じ、上司や同僚と頻りにコミュニケーションが取れ、相談や報告しやすい環境であり、若手職員が多く、新規意見の積極的な活用がされ、一体感のある職場。



【砺波市⇒南砺市（交流観光まちづくり課）】 職種：事務職

- ・「なんと！幸せのおすそわけキャンペーン」事業において、首都圏でのPRや受入れ体制強化のための企画を担当。観光消費動態調査業務では、委託から自前のWEB調査に切り替えるなど、事業見直しを実施。
- ・「土徳」文化（感謝し支えあうこと）が根付いており、所属だけでなく他課の方々も優しく接し、受入れてくださる環境が整っている市である。



【小矢部市 ⇒ 高岡市（商業雇用課）】 職種：事務職

- ・「ミラレ金屋町」開催事業（事務局運営）、商店街照明電気料補助や商工団体の助成等に関する事務を担当。
- ・風通しが良く、報告や相談がしやすい環境であり、新規取り組みや制度設計の見直しに対する意識が高く、活気に満ちている職場。



他市で仕事をしてみて気づいたこと・感想（抜粋）

- ・各市の強みや課題の違いなど「地域性」を実感でき、非常に貴重な経験になった。
- ・毎朝の朝礼や予定の共有で、業務が円滑に進行していると感じた。また、市内事業者や他自治体との交流などで未経験の業務に携わることができ、多くの刺激と良い経験を得られた。
- ・新しい事業に積極的に取り組むことで、他市とは違う特色を出している点が印象的であり、その事業に携わることができたことは、貴重な経験となった。
- ・地域の特色を直接感じられる貴重な機会を得ることができた。今後、両市の経験を活かした多角的な視点で業務に取り組むことができると考えている。
- ・電子回覧やDocuWorksの導入など電子化が進んでおり、業務の効率化を感じた。
- ・派遣先でしかできない体験を通じて得た学びを派遣元へも還元し、自身の仕事にも生かしていきたい。